

巻頭言

メディアセンター長

立教大学理学部 教授 平山孝人

メディアセンターにとって 2011 年度の一番大きな仕事は V-Campus の更新でした。2012 年 4 月から運用を始めた V-Campus 5th Stage は、それまでの 4th Stage の運用により培ったノウハウを基に、より安全で快適な環境をユーザーに提供することを目的として設計されています。具体的には、インターネット回線の二重化、Office365 の導入、スマートフォン対応をはじめとして、以前と比べて様々な機能や利便性が向上しています。これらの新機能により、回線が高速化され、複数のメール環境の提供が可能になり、また様々な情報に対して学外からアクセスしやすくなりました。

これらの新しい機能が V-Campus 5th に組み込まれたのは、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災と無関係ではありません。幸運にも立教大学は大きな被害は受けませんでした。様々な要因により 4 月を休講にせざるを得ませんでした。このような大規模災害が将来再び起こった場合でも教育・研究を継続的に進められるよう、V-Campus 5th ではネットワークシステムやメールシステムが停止してしまう可能性を低くし、またキャンパスに来られない場合でも自宅の PC やスマートフォンを使うことで大学のネットワークを使うことが可能となるような環境を整備しました。この環境をどのように生かしていくのか、利用していくのかは、今後大学全体で考えて行く課題です。

V-Campus 5th Stage が動きだした 2012 年度は、その安定した運用という仕事に加えて、2016 年度から運用を予定している「6th ではどうあるべきか」ということを考え始めています。大きな課題として考えているのは教育に対する更なる貢献です。V-Campus は立教大学の ICT 環境の構築・運用を行っているだけでなく、ICT を使った教育環境の整備にも深く関わっています。大学の本来の責務である「教育」を効率的かつ効果的に行うための方法について、学内の様々な部署と連携を取りながら、検討をしているところです。

センター報はこの 1 年のメディアセンターの仕事がまとめられています。メディアセンターが ICT 基盤の整備・運用だけではなく、教育や大学の運営など実に様々なところに関わっていることがわかります。是非目を通していただき、提言やアドバイス、忌憚のないご意見などをいただけると幸いです。

最後に 1 教員として一言。朝起きてメールをみると、毎日必ずメディアセンター関係のメールが何通か届いています。私が休んでいる間・寝ている間もネットワークやサーバーのシステムは動き続けていて、それを監視している人たちがいます。我々ユーザーが普段何気なく使っている大学の情報基盤が、メディアセンター職員や立教大学に関わっている業者の方たちの 24 時間 365 日にわたる活動に支えられていることを日々実感しています。関係する全ての方たちに感謝しながら、メディアセンターに関わっている 1 教員として、今後更に立教大学の教育・研究に対する貢献ができるメディアセンターになるよう、努力をしていきたいと考えています。

[資料：2012 年 6 月 7 日に行われた New Education Expo 2012 での講演スライドの抜粋]



立教V-Campus 5th Stage (2012 - 2015)

～立教大学の教育研究情報基盤～

立教大学理学部物理学科教授
立教大学メディアセンター長

平山孝人
hirayama@rikkyo.ac.jp

<http://www.rikkyo.ac.jp>
<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/profile/facilities/mediacenter/>
<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/hirayama/>

2012年6月7日 New Education Expo 2012にて講演 (抜粋)
<http://edu-expo.org>

立教大学の紹介



立教大学の概要

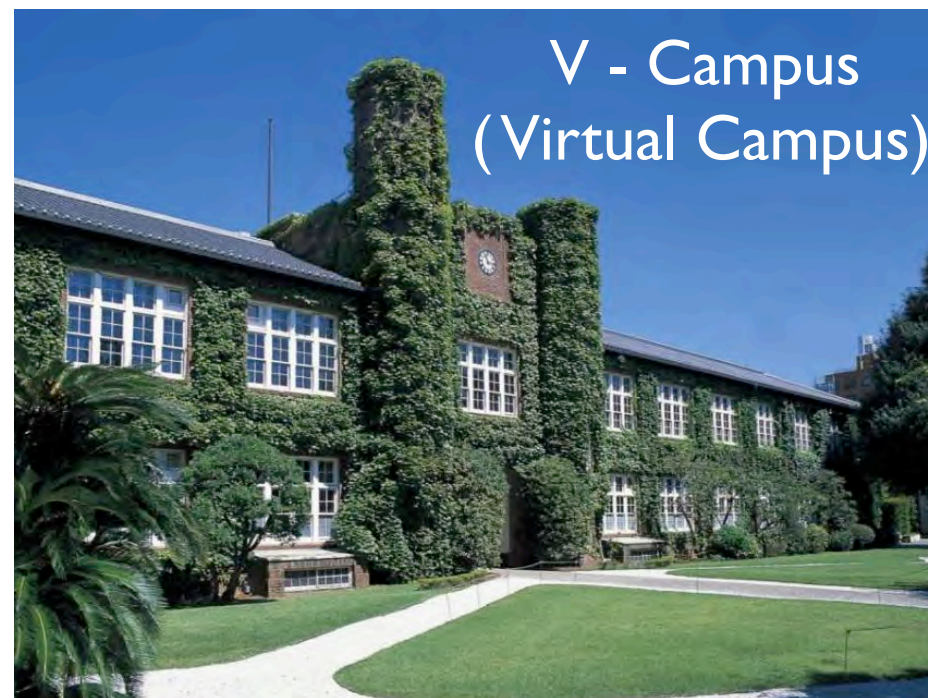
メディアセンター

立教大学の教育研究情報基盤を構築・運用する組織

- センター長1人, 副センター長2人 (教員)
- 専任職員5人, 委託常駐職員29人 (8社)
- 年間予算: 10～15億円
- PC教室 (講義・自習): 1,150台 (池袋: 767, 新座383)
- 語学 (CALL) 教室: 539台 (池袋: 294, 新座: 245)
- 貸し出しPC: 310台 (教員用: 93, 学生用: 217)
- ラーニングスペース端末: 130台 (池袋: 125, 新座: 5)



V - Campus (Virtual Campus)





V - Campus

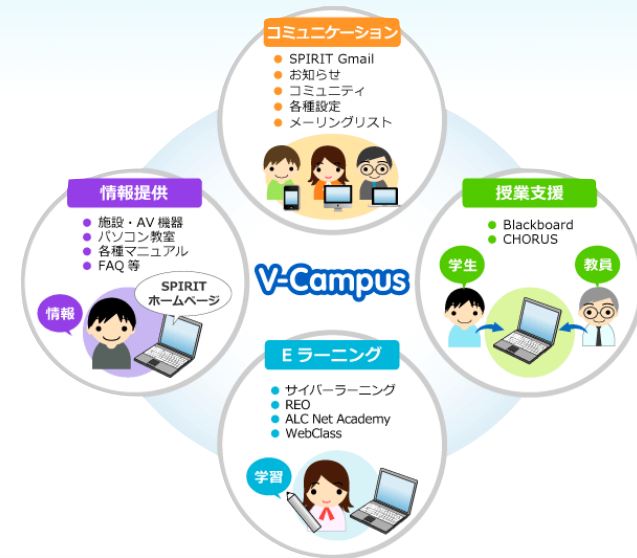


インターネットとイントラネットの技術を活用した「もう一つのキャンパス」

- ICT技術を使った研究・教育用情報基盤
- 学生・教員・職員・校友間のコミュニケーション



V - Campusの4つの柱



V - Campusの歴史



1st (1999-)	<ul style="list-style-type: none"> プロバイダー業務 (@rikkyo.ne.jp) インターネット接続 (20Mbps)
2nd (2002-)	<ul style="list-style-type: none"> プロバイダ業務分離 (@rikkyo.jp) インターネット接続 (100Mbps) Rikkyo Cyber Learning (講義録のon-line化)
3rd (2004-)	<ul style="list-style-type: none"> 池袋一新座キャンパス間Gbit化 授業支援システム (CHORUS) ポータル (SPiRiT) PC教室システム (CROSSROAD) <p>Class Homepages Organized for Rikkyo University Students</p> <p>St Paul's Personalized and Integrated Resources built on Information Technology</p> <p>ClassRoom Operating Service System for Rikkyo Omnipresent Active Domain</p>
4th (2008-)	<ul style="list-style-type: none"> GMail採用 データセンター (クラウド化) サーバの仮想化 シンククライアントPC教室 学内無線LAN

V - Campus 5th Stage 2012 - 2015





V - Campus 5th



- 災害・機器障害に強いシステム（回線の二重化）
- メールサービスの安定供給（Gmail + Office365）
- インターネット接続の高速化
- サーバーストレージ容量の増強
- 学内各種サービスの統合認証基盤（Single Sign On）
- 授業支援システムの強化
- スマートフォン対応
- ポータル基盤構築
- Virtual Private Network (VPN)の増強
- 卒業生メールアドレスサービス（学生番号@rikkyo.ac.jp）
- WindowsOS, MSOfficeのライセンス提供（自宅のPCも）
- etc.....



V - Campus 5th



災害・機器障害に強いシステム

3.11東日本大震災の立教大学への影響

3千人超の帰宅難民の受入

- ・教室の開放
- ・USTREAMでのニュースの放映
- ・Wi-Fiの開放

（幸運にも）回線が切断しなかった

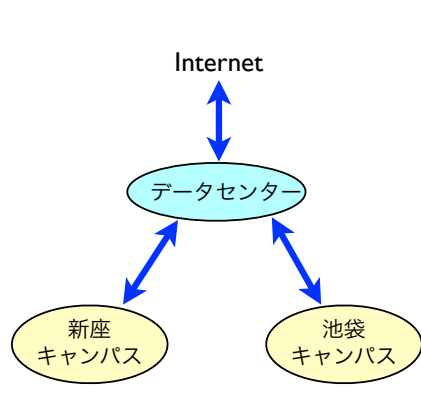


V - Campus 5th

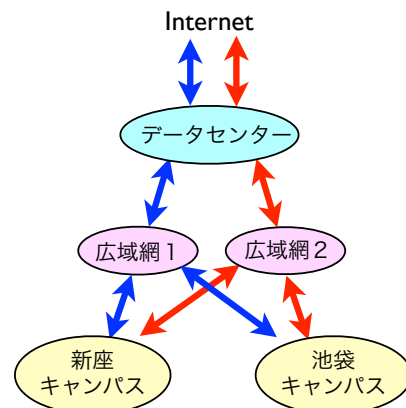


災害・機器障害に強いシステム

V - Campus 4th



V - Campus 5th



V - Campus 5th



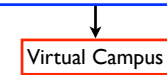
災害・機器障害に強いシステム

3.11東北大震災の立教大学への影響

学校行事の中止・延期

- ・卒業式, 入学式の中止
- ・4月中の授業中止

学外にいながらの学習



- 授業支援システムの強化
- スマートフォン対応
- ポータル基盤構築
- Virtual Private Network (VPN)の増強



V - Campus 5th



スマートフォン対応

学内の無線LAN：約1万4千端末（ユニーク数）
そのうち半数以上がスマートフォンからのアクセス



- iOS (iPhone)
- Android
- Windows Phone



V - Campus 5th



スマートフォン対応

RIKKYO UNIVERSITY (Web Application)



<https://spirit.rikkyo.ac.jp/m/>



V - Campus 5th



スマートフォン対応

RIKKYO UNIVERSITY (Web Application)



ニュース
イベント

バス時刻表

ビデオ
(YouTube)



V - Campus 5th



スマートフォン対応

SPiRiT Mobile (アプリ)





V - Campus 5th



ポータル基盤構築

友人、クラブ、ゼミ、授業、学科、職場、etc... のコミュニティーの形成

ポータル基盤 (SPIRIT) : V-Campus 3rd から運用

(残念ながら) あまり使われていなかった

「大人がよかれと思って作ったシステム」

4年間にわたって継続的に開発を続ける運用



V - Campus 5th



ポータル基盤構築

平山研の連絡用ページ
研究室内の行事、データ、文書、Discussionなど...

お知らせ
 タイトル 更新日時
 研究室ポータルサイト 2012/05/01 21:53
 + 新しいお知らせの追加

議事録

種類	名前	更新者
<input type="checkbox"/>	120523	平山 孝人
<input type="checkbox"/>	120521	平山 孝人
<input type="checkbox"/>	120514	平山 孝人
<input type="checkbox"/>	120507	平山 孝人
<input type="checkbox"/>	120430	平山 孝人
<input type="checkbox"/>	120423	平山 孝人

+ ドキュメントの追加

共有ドキュメント

種類	名前	更新日時	更新者
<input type="checkbox"/>	2012SeminarText	2012/05/01 16:48	平山 孝人

+ ドキュメントの追加

予定表

2012年6月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
27	28	29	30	31	1	2
17:00 - 17:15	15:00 - 21:15					平山 孝人
	15:00 - 21:15		13:00 - 23:15			平山 孝人
10	11	12	13	14	15	16
	15:00 - 21:15					
17	18	19	20	21	22	23
	15:00 - 21:15					



V-Campusがめざすこと

V - Campus Nth



V-Campusがめざすこと



~~最先端の環境を学生・教職員に提供する~~

無理！4年間は長い

今「最先端」でも就職したときにはそうではない



V-Campusがめざすこと

V - Campus Nth



安全で快適な環境を安定して提供する

安全：外からの攻撃に対して&外に迷惑をかけない
 快適：4年経っても陳腐化しない

多彩な環境を提供する

多彩な環境：SNSの積極的な利用（Twitter, Facebook, etc...）
 同じ目的のツールを複数提供する

例えば：Windows & Mac
 Blackboard & CHORUS
 Gmail & Office365
 etc....

- ・リスク対応
- ・（無駄かもしれないけれども）違う環境を「経験」
- ・「無駄」が許されるのは大学生まで



立教V-Campus 5th Stage (2012 - 2015)

～立教大学の教育研究情報基盤～



今後の大学教育
 誰もが「いつでもどこでも」教育を受けられる環境

優れた情報通信基盤・サービスの活用

- ユーザーの大多数である学生の目線でのシステムの構築・運用
- 多彩な環境 [無駄を恐れない]
- 安全で快適な環境 [学生にとっても教員・職員にとっても]